

## タイの伝統行事～ロイカトーン祭り (灯籠流し)<sup>とうろうなが</sup>

S. M 記者 (タイ)

皆さんは、タイのロイカトーンという祭り、あるいは「灯籠流し」を聞いたことがありますか。この祭りは、タイの伝統行事の一つである重要で有名なお祭りです。

これから、ロイカトーン祭りについて ご紹介したいとおもいます。一緒に楽しみにながらお祭りに行きましょう。



### ロイカトーン祭り (「灯籠流し」)<sup>とうろうなが</sup>

**お祭りの起源：** ロイカトーン祭りは 古くスコタイ時代、すなわち11世紀に起こったものなのですが、今でもまだ開催されつづけています。毎年、11月の満月のお祝いの日、つまり、11月16日に、この祭りは 全国で、どこでも同時に行われて、国内だけでなく、タイ人たちが住んでいるどの国でも、皆この祭りを楽しみにしているようです。

**お祭りの目的：** 「ロイカトーン祭りの目的はなんですか」と 人々に聞くと、外国人はもちろん、タイ人としてもわからないひとがいるかもしれません。この祭りの目的と  
いえば、われわれに水の恵みを与えてくれる水の神様への感謝と、川を汚したことへの謝罪を表すというものです。

## クラトンの今と昔：

お祭りに行けば、いろんな行事が見られますが、<sup>ぐたい</sup>具体的には、なくてはならないものが二つあると言えます。一つは、「クラトン」という<sup>さら</sup>皿<sup>とうろう</sup>みたいな<sup>う</sup>灯籠を川に浮かべるといことです。昔は、この「クラトン」は<sup>ばなな</sup>バナナの<sup>は</sup>葉と<sup>はな</sup>いろんな<sup>がた</sup>花でかたどりでしたが、最近、バナナの葉のかわりに<sup>かんきょう</sup>プラスチック<sup>くず</sup>型<sup>げんざい</sup>を使うようになりました。でも、<sup>もど</sup>プラスチックが<sup>へんこう</sup>環境を崩してしまうので、<sup>ざいりょう</sup>現在では、バナナの葉を用いることに戻りました。

さらに、<sup>じだい</sup>変更<sup>ちほう</sup>になったのは<sup>かたち</sup>材料<sup>う</sup>だけでなく、時代や地方ごとに「クラトン」の形も様々に生まれ変わりました。



<sup>さら</sup>「クラトン」というお皿<sup>とうろう</sup>みたいな灯籠

## ミス・ロイカトンのコンテスト：

「クラトン」を浮かべること以外に、もう一つ有名なもの、それはナングノッパマトと呼ばれる「ミスロイカトンのコンテスト」のことです。ミスロイカトンは<sup>えんにち</sup>みんな、<sup>ふく</sup>タイのお寺の縁日<sup>き</sup>の時のようなきれいな服を着ることで、<sup>ぶたい</sup>それから、<sup>うえ</sup>舞台上で<sup>じぶん</sup>自分の<sup>とくぎ</sup>特技や<sup>のうりよく</sup>能力、または、<sup>す</sup>好きな<sup>えんぎ</sup>演技を<sup>えん</sup>演じます。そして、<sup>かんきやく</sup>観客から一番点を多く取った人がミスロイカトンになります。



### ミスロイカトンのコンテスト

そのうえ、子供にとっての楽しい行事は、日本と同じように花火だと思います。ただし、日本の花火のようにすごく大きな花火ではなく、小さいものしかありません。でも、この花火は 危険性があるので、最近、だいたいのところでは花火は禁止になってしまったそうです。

ロイカトーン祭りは、毎年、日本（東京：日比谷公園）でも行いますから、皆さんも次回のロイカトーン祭りにぜひ参加して、楽しんでください。

(2006/03/06)